

平成21年度大分県高等学校新人ヨット競技大会 (プログラム)

1. 日 時 平成 21 年 11 月 14 日 土 曜 日 10:00～

2. 会 場 別府北浜ヨットハーバー

3. 参加チーム

種 別	学校名	チーム	セーラーNo	選手 1	選手 2	選手 3	選手 4
FJ級	男子	別 府 青 山	A	J-1606	佐藤 啓太	平塚 侑馬	
			B	J-1637	疋田 大晟	森菌 広成	
			C	J-1638	出口 諒	大野 雅貴	
	女子	別 府 青 山	A	J-1664	松本 朱加	柳 佳奈恵	
			B	J-1702	池田 唯	安藤 理保	
			C	J-1605	野田 静香	伊東 美貴	
SR級	男子	海 洋 科 学	A	J-12716	石川 侃弥		
			B	J-1344	神出 銀平		
		別 府 青 山	A	J-13448	秦野 大輝		
			B	J-13444	中島 翔平		

4. 日 程

09:00～ 開始式

09:10～ 艇長会議

10:00～ 第1レース ※引き続き第2レース

13:00～ 第3レース ※引き続き第4、5レース

※但し天候・海上の状況により、日程・時間等を変更することがある

平成21年度大分県高等学校新人大会ヨット競技 帆走指示書

1. 適用規則

1.1 本大会は2009－2012年国際セーリング競技規則(以下「規則」と称す)に定義された「規則」を適用する。国際F J級クラス規則については、2004年改訂版を適用する。但しいずれの規則もこの帆走指示書によって変更されたものは除く。またいずれの規則も帆走指示書と矛盾する場合は、この帆走指示書を適用する。

1.2 競技規則付則D(チームレース競技規則)は適用されない。

2. 参加者への通告

競技者へ対する通告は、陸上本部(セーリング艇庫)前に設置された公式掲示板に掲示される。

3. 帆走指示書の変更

帆走指示書の変更は、随時口頭及び掲示板にて指示されるものとし、レース日程の変更においても同様である。

4. 陸上で発せられる信号

4.1 陸上で発せられる信号は陸上本部(セーリング艇庫)前のポールに揚げられる。

4.2 AP旗が陸上で掲揚された場合、競技規則のレース信号回答旗中の「1分」を「30分以降」と置き換える。

4.3 「出艇を禁止する」、「出艇を許可する」等の連絡をする場合は口頭で伝える。

5. レースの日程

09:00～	開始式
09:10～	艇長会議
10:00～	FJ級第1レース ※引き続き第2レース
13:00～	FJ級第3レース ※引き続き第4、5レース

※ スタートはFJ級、SR級の順で行い、各クラスごと男女同時スタートとする。原則として16時30分以降の予告信号は発しない。但し天候・海上の状況により、時間等を変更することがある。

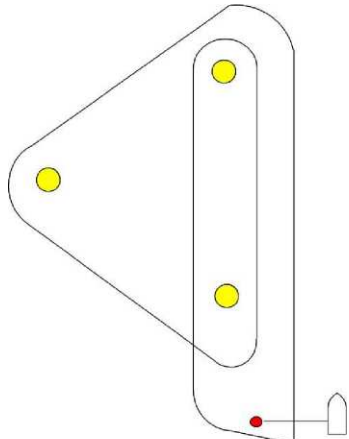
6. クラス旗は下記を用いる。

男女FJ級 白地に青のFJの文字 SR級 バッタのマーク

7. コースエリアは別添図に示す通りである。

8. コース

- 8.1 回航すべきマークの順序及び各マークの通過すべき側を下図に示す。コースについては実施要項の通りに行う。各レグ間の角度はおおよそである。
- 8.2 K-スを短縮する場合は、運営艇(本部船)にS旗及び当該クラス旗を揚げ、警笛音2声を発する。この場合は先頭艇が、まさに回航しようとするマークと運営艇(本部船)の(青色旗を揚げた)ポールの間をフィニッシュするものとする。



※スタート後フィニッシュラインの長さは短縮される

スタート→1→2→3→1→3→アウター→本線後方フィニッシュ

9. マーク

マーク1・2・3は円形(オレンジ大)のブイ。リミットマークは円形(オレンジ小)のブイ及びを用いる。

10. スタート

- 10.1 レースは以下によってスタートする。これは規則26.1及び30を変更するものである。時間は視覚信号により示されなければならない。音響信号により示さなければならない。音響信号の不発は無視されなければならない。

信号	視覚信号	音響信号	スタートまでの時間
予告	クラス旗(FJ・SR)掲揚	1 声	5 分
準備	P旗・I 旗掲揚	1 声	4 分
1 分	P旗・I 旗降下	1 声	1 分
スタート	クラス旗降下	1 声	0

- 10.2 スタートラインは、スターボードの端となる白色のブイと、ポートの端となる本部船の赤白ポールの間とする。
- 10.3 スタート信号後4分以降にスタートする艇は“DNS”として記録される。これは付則A4を変更している。

11. スタート後のマークの変更

スタート後、著しく風向が変化した場合を除き、風向の変化によるマークの変更は

行わない。

12. フィニッシュ

フィニッシュラインは本部船の赤白ポールと白色のブイを結ぶ線とする。

13. ペナルティー方式

規則42違反に対し付則Pを適用する。

14. タイムリット

14.1 先頭艇のタイムリットを70分とする。

14.2 タイム・アローアンス

先頭艇がタイムリット内にフィニッシュした場合は、先頭艇フィニッシュ時刻の20分後にレースは終了される。20分以内にフィニッシュしなかった艇は、“DNF”として記録される。これは規則35及び付則A4を変更している。

14.3 15.1及び15.2でいう先頭艇は、スタート時に“OCS”及び“BFD”として記録された艇で、コースを帆走して最初にフィニッシュした艇とする。

15. 抗議

15.1 抗議しようとする艇は、規則61を満たしていることは当然必要であるが、フィニッシュ時に本部船に抗議する旨を伝え、着岸しなければならない。

15.2 抗議は所定の用紙に記入の上、当日の最終レースの最終艇フィニッシュ後30分以内に提出しなければならない。ただしプロテスト委員会の裁量により、この時刻を延期する場合がある。

15.3 抗議の審問には代理人の出席は認めない。

16. 失格に代わる罰則

競技規則44.2『2回転ペナルティー』を適用する。

17. 得点

17.1 規則A4の『低得点方法』を適用する。

17.2 本大会は各クラス1レースの完了をもって成立する。

17.3 失格等とされた艇は下記のペナルティを課す。

DNC (スタートエリアに來なかつた艇)	(当該種目艇数+1) 点
DNS (スタートしなかつた艇)	(当該種目艇数+1) 点
OCS (スタート・ラインのコース・サイド ^① にいてスタートしなかつたか、または30.1に從わなかつた)	(当該種目艇数+1) 点
DNF (フィニッシュしなかつた艇)	(当該種目艇数+1) 点
RAF (フィニッシュ後リタイアした艇)	(当該種目艇数+1) 点
PTP (出艇・帰着申告等の手続き違反の艇)	(着順+3) 点

18. リタイア

リタイしようとする艇は、出来る限り速やかにレース海面から離れるとともにリタイの意志を運営艇に伝えるよう努力しなければならない。

19. ライフシ` ャケット

乗員は離岸から着岸までの間、十分な浮力を持つライフジャケットを着用しなければならない。

20. 責任の否認

競技者は、完全に自己リスクで大会に参加している。規則4「レースすることの決定」参照。主催団体は大会中、大会後と関連して受けた物理的損傷または個人の負傷もしくは死亡に対する責任を否認する。

21. 賞

実施要項の通り、各種目別に賞を与える。

別添図(レースエリア)

